

【授業目的】 医薬品の創製, 適正使用, および育薬の各過程において極めて重要な意味を持つ「医薬品情報」について全般的に理解し, 医薬品情報のスペシャリストとして薬剤師や医薬情報担当者などの業務に活用することのできる知識と技能を養うとともに, 医薬品情報学の将来展望についても考える。

【授業概要】 医薬品はその開発研究から市販後の適正使用に至るまで「情報の化身」であり, 適正な医療を進めるためには広範な「医薬品情報」を理解することが重要である。このために, 医療制度や新薬承認制度に基づいた医薬品開発情報, 医薬品の安全性確保のための対策, 医薬品適正使用のための種々安全性情報に関する最新知識, 医薬品に関連する臨床情報の収集, 解析・評価, 加工, 提供, および情報管理のため方法論を講述するとともに, 臨床薬剤師によるファーマシューティカル・ケアの実際について解説する。さらに, これからの医薬品情報学が目指すべき方向についても, 共に考えたい。

【授業形式】 [形態]

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 演習を含みますので出席を毎回取ります。

【到達目標】 [目標]

【授業計画】

1. 医薬品情報学とは
2. 医薬品の開発から市販後までの薬事情報 (1)
3. 医薬品の開発から市販後までの薬事情報 (2)
4. 医薬品の開発から市販後までの薬事情報 (3)
5. 医薬品適正使用と医薬品情報 (1)
6. 医薬品適正使用と医薬品情報 (2)
7. 医薬品安全性情報 (1)-副作用の早期発見をめざして
8. 医薬品安全性情報 (2)-副作用の早期発見をめざして
9. 医薬品安全性情報 (3)-妊娠・授乳期の医薬品情報
10. 薬物相互作用情報 (1)
11. 薬物相互作用情報 (2)
12. 薬剤師と DI 業務
13. ファーマシューティカル・ケアの実際
14. これからの医薬品情報学と情報科学
15. 試験

【成績評価】 出席状況, レポート, および試験等により評価します。

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217073>

【連絡先】

⇒ 山内 (088-633-7266, aiko@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 随時)

⇒ 佐藤 (088-633-7253, sato@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】

- ◇ 講義資料は適宜配布し, 参考図書も必要に応じて紹介します。
- ◇ 平成 23 年度前期開講

Target) 医薬品の創製，適正使用，および育薬の各過程において極めて重要な意味を持つ「医薬品情報」について全般的に理解し，医薬品情報のスペシャリストとして薬剤師や医薬情報担当者などの業務に活用することのできる知識と技能を養うとともに，医薬品情報学の将来展望についても考える。

Outline) 医薬品はその開発研究から市販後の適正使用に至るまで「情報の化身」であり，適正な医療を進めるためには広範な「医薬品情報」を理解することが重要である。このために，医療制度や新薬承認制度に基づいた医薬品開発情報，医薬品の安全性確保のための対策，医薬品適正使用のための種々安全性情報に関する最新知識，医薬品に関連する臨床情報の収集，解析・評価，加工，提供，および情報管理のため方法論を講述するとともに，臨床薬剤師によるファーマシューティカル・ケアの実際について解説する。さらに，これからの医薬品情報学が目指すべき方向についても，共に考えたい。

Style) [形態]

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) 演習を含みますので出席を毎回取ります。

Goal) [目標]

Schedule)

1. 医薬品情報学とは
2. 医薬品の開発から市販後までの薬事情報 (1)
3. 医薬品の開発から市販後までの薬事情報 (2)
4. 医薬品の開発から市販後までの薬事情報 (3)
5. 医薬品適正使用と医薬品情報 (1)
6. 医薬品適正使用と医薬品情報 (2)
7. 医薬品安全性情報 (1)-副作用の早期発見をめざして
8. 医薬品安全性情報 (2)-副作用の早期発見をめざして
9. 医薬品安全性情報 (3)-妊娠・授乳期の医薬品情報
10. 薬物相互作用情報 (1)
11. 薬物相互作用情報 (2)
12. 薬剤師と DI 業務
13. ファーマシューティカル・ケアの実際
14. これからの医薬品情報学と情報科学
15. 試験

Evaluation Criteria) 出席状況，レポート，および試験等により評価します。

Textbook) [教科書]

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217073>

Contact)

⇒ Yamauchi (+81-88-633-7266, aiko@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 随時)

⇒ Sato (+81-88-633-7253, sato@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note)

- ◇ 講義資料は適宜配布し，参考図書も必要に応じて紹介します。
- ◇ 平成 23 年度前期開講